

エコイベントマニュアル



エコイベントとっとり

平成15年3月

(最終改訂) 平成28年10月

鳥 取 県

1 趣旨

環境に配慮したイベント（エコイベント）をどのような規模でも無理なく、そして継続して行うためにエコイベントマニュアルを作成します。

このマニュアルに基づき、来場者の楽しさを損なわない範囲で環境配慮活動を行い、関係者はもちろん、参加者、来場者にも環境配慮活動を実践していただくことにより環境に対する啓発を行います。

2 背景

イベントの開催は、地域活性化や施策のアピール、普及啓発などさまざまな効果がありますが、廃棄物の発生やエネルギーの消費など、環境に負荷がかかりますので、環境に配慮したエコイベントを実施することが重要です。

本マニュアルは、どのようなイベント規模でも無理なく、継続して開催していただくために作成したものです。

なお、目標以外の環境配慮項目の拡充を図ることで、より一層の環境配慮活動を実践することができます。

3 対象

対象イベントは、不特定多数の参加者を対象として開催する式典、催し、行事等のうち、県が主催又は共催もしくは実行委員会が開催するもので、その実施に県が主体的に関わるものとします。

さらに、県が後援するイベント等についても、県が関与できる程度に応じて、主催者に協力を依頼することとします。

また、イベントの規模については特に定めず、小規模なイベントでも環境影響を考慮して必要と判断すれば、エコイベントに取り組むこととします。

4 取組み

イベントの開催による環境への負荷を最小限にするために取組む事項を、

- (1) 廃棄物の削減
- (2) 来場者等の自家用車利用削減
- (3) 省資源・省エネルギー
- (4) 環境啓発

の四つに分けて具体的に掲げています。

必須項目は、やむを得ない理由がある場合を除き、必ず取組む項目です。

努力項目は、一層の環境への配慮のために取組む項目です。

5 手順

イベントを企画する段階で、エコイベントマニュアルを基にエコイベント計画書（様式1）を作成します。エコイベント計画書に従い、イベントの準備を進めエコイベントを実施します。イベント終了後には、エコイベント実績報告書（様式2）により自己チェックを行います。エコイベント実績報告書により見直しを行い、次に開催するイベントに反映させることとします。

(p. 11 エコイベント実施フロー 参照)



(1) 廃棄物の削減

廃棄物は発生させないことが望ましいですが、多数の人が参加するイベントでは、廃棄物の発生は避けては通れません。

廃棄物の発生を最小限に抑えるとともに、発生する廃棄物はリサイクル（再生利用）を行うなど、廃棄物の減量とリサイクルに取り組むことが必要です。

項目		取組み事項
共通	必須	<ul style="list-style-type: none"> ●会場にごみ収集場所を設置し、会場のある市町村のルールに従い、分別収集を徹底する。 ●参加者によるごみの持ち帰りを呼びかける。 ●記念品等の配布物は簡易包装を実施する。
	努力	<ul style="list-style-type: none"> ■ごみ収集場所に係員を配置し、来場者等に対して適切なごみの分別指導を行う。 ■開催前後に会場及び周辺歩道等のごみを拾う。
屋食・模擬店	必須	<ul style="list-style-type: none"> ●屋食等に使用した割り箸は回収し、再資源化する。
	努力	<ul style="list-style-type: none"> ■飲食物を提供する際は、使い捨て容器に代えてリユース食器¹⁾を利用する。 ■近隣で給湯や排水の設備が整う会場では、茶碗等の再利用できる食器を使用する。 ■発生した生ごみは、堆肥化等を行うリサイクル事業者処理を依頼し、再資源化する。
展示物・看板等	必須	<ul style="list-style-type: none"> ●チラシ、プログラム等の印刷物は精査し、作成部数を削減する。 ●印刷物が余った場合は、主催者が持ち帰り、再資源化する。 ●電子情報を活用したPRを積極的に行う。
	努力	<ul style="list-style-type: none"> ■看板の枠等は、再利用可能なものを使用する。 ■複数イベントで共同して、PRポスターを作成する。 ■プロジェクター等を活用し、配布資料を削減する。 ■仮設物や会場装飾、誘導看板等は、別イベント等で再利用する。

1) 「リユース食器」とは

使い捨てではなく、繰り返し洗って何度も再利用できるプラスチック製の食器です。食器は貸出業者からレンタルし、使用後は洗わずに返却することができます。

ごみ収集のポイント

- ◆ イベントの内容を把握してゴミの種類を予測し、ゴミ箱に参加者が理解しやすい表示をしましょう。
- ◆ ゴミ箱は中が見えるようにしましょう。
- ◆ 排水口からのゴミを取り除く工夫をしましょう。
- ◆ ペットボトルの分別収集は、県内の全市町村において実施しています。リサイクルのため分別回収の徹底を図りましょう。

エコイベント実施者からのアドバイス



★分別収集を徹底するためには、イベント開催地の分別方法を事前に十分把握して、スタッフに周知しておくことが必要です。また、呼びかけ等により参加者の意識啓発を図ることが肝心です。

★イベント開催に伴い排出される廃棄物の種類、量等をあらかじめ想定し、リサイクルの方法や引取り業者を盛り込んだような計画書を作成すれば、廃棄するゴミの量を減らすことができます。

★記念品の簡易包装については、納品業者への協力要請を徹底しておくことが必要です。

★割り箸の再資源化については、回収した割り箸は、本来なら洗って十分に乾燥させてからリサイクル業者まで運ぶことが必要です。しかし、速やかに運ぶことができる場合には、季節等により、洗浄が必要でない場合がありますので、リサイクル業者に確認してください。箸以外のものが回収箱に混入しないよう注意が必要です。また、回収した割り箸を重量集計するようになれば、取組効果が見えるようになります。

(現在、王子製紙(株)米子工場が割り箸の回収に協力いただいています)

★残飯を少なくする方法として、スタッフ用の昼食をおにぎりやサンドイッチにするのも1つの方策です。また、弁当の注文数は確実に必要な数とし、不足分については当日対応とすれば、弁当が余るようなことは防げます。スタッフだけでも、箸の持参を呼びかけるようになればゴミの減量化につながります。

★別会場での資材の再利用については、会場間で融通できる資材の利用スケジュールを含んだリストを作成しておけば有効です。

★食器だけでなく使い捨てのカセット式ガスボンベなどについても、再利用できるものを使用するようになれば、廃棄物の削減につながります。

★会場にごみ収集場所を設置し、分別収集を徹底している例：



★開催前後に会場周辺のごみを拾っている例：



★リユース食器を利用している例：



★昼食等に使用した割り箸を回収している例：



排水口からのごみを取り除く工夫の例：



(2) 来場者等の自家用車利用削減

イベントにおいて環境配慮すべき点は、会場だけではなく、移動の交通手段がもたらす排気ガスの削減や騒音の低減も図る必要があります。

項目	取組み事項
共通	必須 <ul style="list-style-type: none">● 来場者に公共交通機関、シャトルバス等の利用を呼びかける。● 出演者及びスタッフ、関係者の移動の際は、公共交通機関の利用や乗り合わせに努める。● シャトルバスを運行した場合は、アイドリングストップを行う。
	努力 <ul style="list-style-type: none">■ 公共交通機関を利用し易いなど、開催場所に配慮する。■ シャトルバスを運行する。■ 会場間の循環バスを運行する。■ 自家用車での来場者に対してアイドリングストップを呼びかける。■ 近距離会場間はレンタルサイクルを提供する。

エコイベント実施者からのアドバイス



★チラシ等に、公共交通機関の時刻表やシャトルバスの運行等の情報を掲載しておくことが必要です。

★スタッフの移動については、計画書を作成しておけば、乗り合わせを徹底することができます。

(3) 省資源、省エネルギー

省資源、省エネルギーを行うことが必要です。

項目		取組み事項
共通	必須	<ul style="list-style-type: none"> ●照明、冷暖房は、状況に応じて調節する。 ●音響機器の使用にあたっては、過大な音量とならないよう考慮する。 ●使用物品等は「<u>鳥取県グリーン購入基本方針</u>²⁾」の調達方針を満たすものを調達する。 ●チラシ、プログラム等の印刷物は「鳥取県グリーン購入基本方針」の調達方針をもとに作成する。
	努力	<ul style="list-style-type: none"> ■チラシ、プログラム等の印刷物は<u>エコインク</u>³⁾を使用する。
広報・先導車	努力	<ul style="list-style-type: none"> ■低公害車を使用する。

2) 『鳥取県グリーン購入基本方針』とは

鳥取県の物品等の調達にあたって、環境に配慮した商品を優先的に調達する方針を定めたものです。

調達方針として、以下の内容を定めています。

- ・鳥取県認定グリーン商品を調達すること。
- ・グリーン購入法適合製品を調達すること。
- ・上記製品がない場合もできる限り環境負荷の低減を考慮した物品を選択して調達すること。

詳細は、「とりネット (<http://www.pref.tottori.lg.jp/17855.htm>)」に掲載しています。

3) 『エコインク』とは

揮発性有機化合物の放出が少ない大豆油インク等があります。

エコイベント実施者からのアドバイス



★エコ商品のリストを取り寄せておくことが有効です。

(4) 環境啓発

参加者や関係者に環境配慮の内容を説明するとともに、環境配慮活動と呼びかける必要があります。

項目		取組み事項
共通	必須	●ポスター、チラシ等に環境配慮への取組みを明記する。
	努力	<ul style="list-style-type: none"> ■会場内で実施している環境配慮活動を来場者に説明する。 ■委託業務の仕様書に環境配慮項目を明記するとともに、委託業者や出展業者へ環境配慮の趣旨や内容を十分に説明して協力を依頼する。 ■実施計画、運営マニュアル等において、環境配慮項目を明記する

エコイベント実施者からのアドバイス



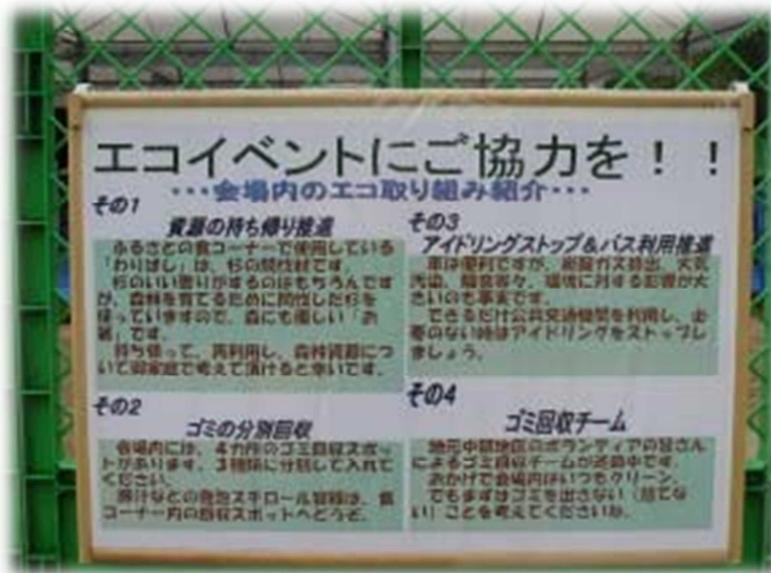
★例えば、自動車を利用した場合と自転車を利用した場合の二酸化炭素の排出量を示すことにより、取組効果を具体的に示すことも取組意欲の喚起につながります。

★さらに、環境教育の場としての工夫をすることも大切です。例えば、取組効果とともに地球温暖化の現状やエコイベントの意義等について訴えるようにすれば、地球温暖化を考えるきっかけともなります。

★来場者や参加者がゴミのポイ捨てを行った時に、スタッフが即座に拾うようなことを徹底すれば、来場者や参加者の意識を変えることにつながります。

★来場者や参加者が、ゴミを持ち帰ることを原則として、ゴミ袋の持参を呼びかけるようにすれば、来場者や参加者の環境意識の啓発につながります。

★参加者や関係者にエコイベントの協力を呼びかけている例：



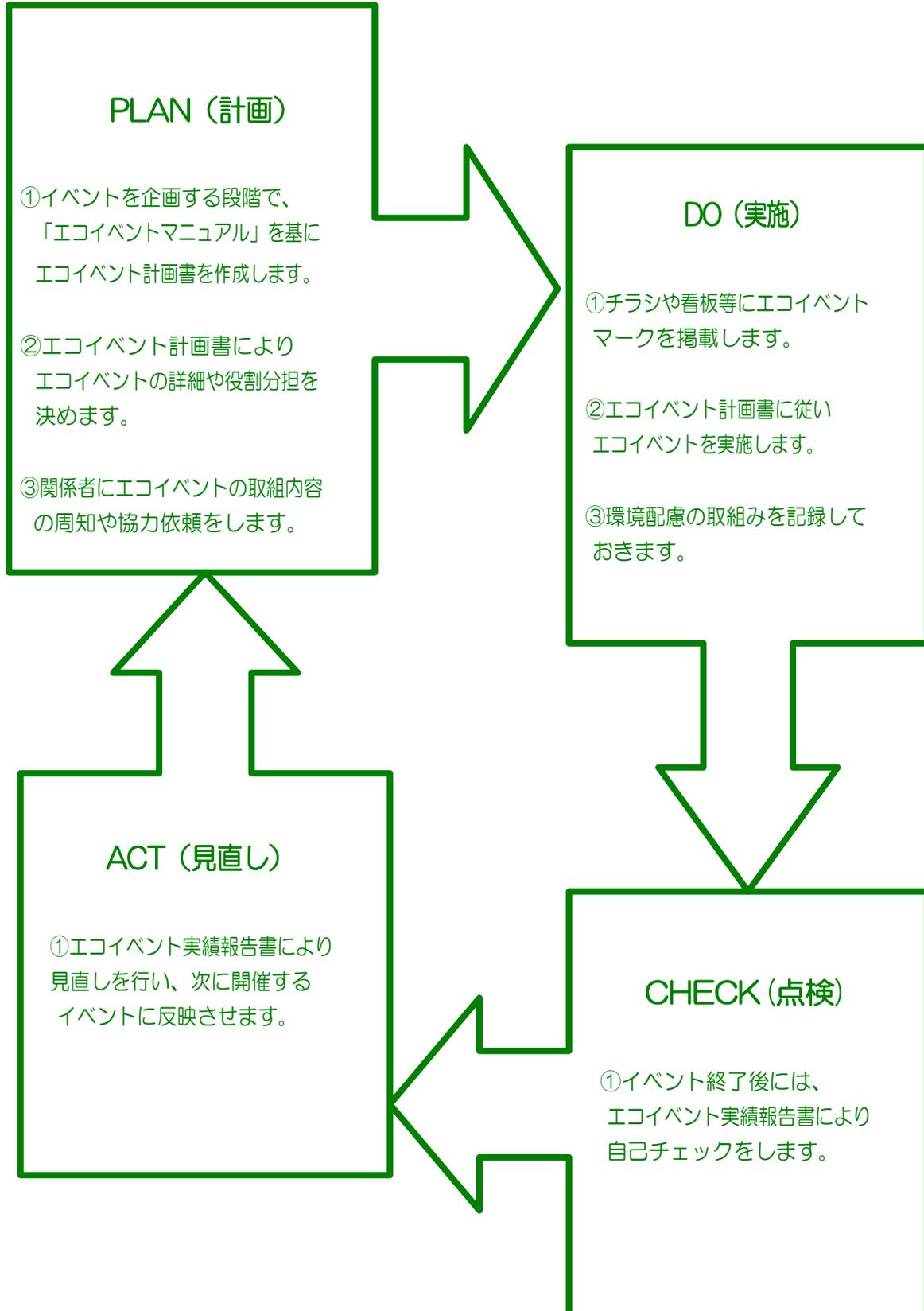
★参加者にごみの持ち帰りを呼びかけている例：



★来場者にアイドリングストップを呼びかけている例：



エコイベント実施フロー



(様式1)

エコイベント計画書

平成 年 月 日

イベント名	(新規・継続) (主催・共催)	
実施期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日 (日間)	
開催場所	市町村名 () / 施設名 ()	
参加者数	目標参加者数 (名)	
環境配慮項目	取 組 み 内 容	
(1) 廃棄物の削減	共通	<input type="checkbox"/> 会場にごみ収集場所を設置し、会場のある市町村のルールに従い、分別収集を徹底する。 <input type="checkbox"/> 参加者によるごみの持ち帰りを呼びかける。 <input type="checkbox"/> 記念品等の配布物は簡易包装を実施する。 <input type="checkbox"/> ごみ収集場所に係員を配置し、来場者等に対して適切なごみの分別指導を行う。 <input type="checkbox"/> 開催前後に会場及び周辺歩道等のごみを拾う。 その他 ()
	昼食・模擬店	<input type="checkbox"/> 昼食等に使用した割り箸は回収し、再資源化する。 <input type="checkbox"/> 飲食物の提供時にはリユース食器を利用する。 <input type="checkbox"/> 近隣で給湯や排水の設備が整う会場では、茶碗等の再利用ができる食器を使用する。 <input type="checkbox"/> 発生した生ごみは、堆肥化等を行うリサイクル事業者へ処理を依頼し、再資源化する。 その他 ()
	展示物・看板等	<input type="checkbox"/> チラシ、プログラム等の印刷物は精査し、作成部数を削減する。 <input type="checkbox"/> 印刷物が余った場合は、主催者が持ち帰り、再資源化する。 <input type="checkbox"/> 電子情報を活用したPRを積極的に行う。 <input type="checkbox"/> 看板の枠等は、再利用可能なものを使用する。 <input type="checkbox"/> 複数イベントで共同して、PRポスターを作成する。 <input type="checkbox"/> プロジェクター等を活用し、配布資料を削減する。 <input type="checkbox"/> 仮設物や会場装飾、誘導看板等は、別イベント等で再利用する。 その他 ()
(2) 来場者の自家用車利用削減	共通	<input type="checkbox"/> 来場者に公共交通機関、シャトルバス等の利用を呼びかける。 <input type="checkbox"/> 出演者及びスタッフ、関係者の移動の際は、公共交通機関の利用や乗り合わせに努める。 <input type="checkbox"/> シャトルバスを運行した場合は、アイドリングストップを行う。 <input type="checkbox"/> 公共交通機関を利用し易いなど、開催場所に配慮する。 <input type="checkbox"/> シャトルバスを運行する。 <input type="checkbox"/> 会場間の循環バスを運行する。 <input type="checkbox"/> 自家用車で来場者に対してアイドリングストップを呼びかける。 <input type="checkbox"/> 近距離会場間はレンタルサイクルを提供する。 その他 ()
(3) 省エネ・小資源	共通	<input type="checkbox"/> 照明、冷暖房は、状況に応じて調節する。 <input type="checkbox"/> 音響機器の使用にあたっては、過大な音量とならないよう考慮する。 <input type="checkbox"/> 使用物品等は「鳥取県グリーン購入調達方針」の判断基準・配慮事項をもとに調達する。 <input type="checkbox"/> チラシ、プログラム等の印刷物は「鳥取県グリーン購入調達方針」の判断基準・配慮事項をもとに作成する。 <input type="checkbox"/> チラシ、プログラム等の印刷物はエコインクを使用する。 その他 ()
	広報・先導者	<input type="checkbox"/> 低公害車を使用する。 その他 ()
(4) 環境啓発	共通	<input type="checkbox"/> ポスター、チラシ等に環境配慮への取組みを明記する。 その他 ()
		<input type="checkbox"/> 会場内で実施している環境配慮活動を来場者に説明する。 <input type="checkbox"/> 委託業務の仕様書に環境配慮項目を明記するとともに、委託業者や出展業者へ環境配慮の趣旨や内容を十分に説明して協力を依頼する。 <input type="checkbox"/> 実施計画、運営マニュアル等において、環境配慮項目を明記する。 その他 ()
実施主体		
担当者		

(様式2)

エコイベント実績報告書

平成 年 月 日

イベント名	(新規・継続) (主催・共催)
実施期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日 (日間)
開催場所	市町村名 () / 施設名 ()
参加者数	実績 (名)
環境配慮項目	取組み内容についての結果・成果及び反省点
(1) 廃棄物の削減	共通 ○会場にごみ収集場所を設置し、会場のある市町村のルールに従い、分別収集を徹底する。 【結果・成果】 【反省点】 ○参加者によるごみの持ち帰りを呼びかける。 【結果・成果】 【反省点】 ○記念品等の配布物は簡易包装を実施する。 【結果・成果】 【反省点】 □ごみ収集場所に係員を配置し、来場者等に対して適切なおごみの分別指導を行う。 【結果・成果】 【反省点】 □開催前後に会場及び周辺歩道等のごみを拾う。 【結果・成果】 【反省点】 その他 () 【結果・成果】 【反省点】
	昼食・模擬店 ○昼食等に使用した割り箸は回収し、再資源化する。 【結果・成果】 【反省点】 □飲食物の提供時にはリユース食器を利用する。 【結果・成果】 【反省点】 □近隣で給湯や排水の設備が整う会場では、茶碗等の再利用ができる食器を使用する。 【結果・成果】 【反省点】 □発生した生ごみは、堆肥化等を行うリサイクル事業者処理を依頼し、再資源化する。 【結果・成果】 【反省点】 その他 () 【結果・成果】 【反省点】
	展示物・看板等 ○チラシ、プログラム等の印刷物は精査し、作成部数を削減する。 【結果・成果】 【反省点】 ○印刷物が余った場合は、主催者が持ち帰り、再資源化する。 【結果・成果】 【反省点】

	<p>展示物 ・ 看板等</p>	<p>○電子情報を活用したPRを積極的に行う。 【結果・成果】 【反省点】</p> <p>□看板の枠等は、再利用可能なものを使用する。 【結果・成果】 【反省点】</p> <p>□複数イベントで共同して、PRポスターを作成する。 【結果・成果】 【反省点】</p> <p>□プロジェクター等を活用し、配布資料を削減する。 【結果・成果】 【反省点】</p> <p>□仮設物、会場装飾、誘導看板等を別会場等で再利用する。 【結果・成果】 【反省点】</p> <p>その他（） 【結果・成果】 【反省点】</p>
<p>(2) 来場者の 自家用車 利用削減</p>	<p>共通</p>	<p>○来場者に公共交通機関、シャトルバスの等の利用を呼びかける。 【結果・成果】 【反省点】</p> <p>○出演者及びスタッフ、関係者の移動の際は、公共交通機関の利用や乗り合わせに努める。 【結果・成果】 【反省点】</p> <p>○シャトルバスを運行した場合は、アイドリングストップを行う。 【結果・成果】 【反省点】</p> <p>□公共交通機関を利用し易いなど、開催場所に配慮する。 【結果・成果】 【反省点】</p> <p>□シャトルバスを運行する。 【結果・成果】 【反省点】</p> <p>□会場間の循環バスを運行する。 【結果・成果】 【反省点】</p> <p>□自家用車での来場者に対してアイドリングストップを呼びかける。 【結果・成果】 【反省点】</p> <p>□近距離会場間はレンタルサイクルを提供する。 【結果・成果】 【反省点】</p> <p>その他（） 【結果・成果】 【反省点】</p>

(3) 省エネ ・ 省資源	共通	<input type="checkbox"/> 照明、冷暖房は周囲の状況に応じて使用する。 【結果・成果】 【反省点】 <input type="checkbox"/> 音響機器の使用にあたっては、過大な音量とならないよう考慮する。 【結果・成果】 【反省点】 <input type="checkbox"/> 使用物品等は「鳥取県グリーン購入基本方針」の調達方針を満たすものを調達する。 【結果・成果】 【反省点】 <input type="checkbox"/> チラシ、プログラム等の印刷物は「鳥取県グリーン購入基本方針」の調達方針をもとに作成する。 【結果・成果】 【反省点】 <input type="checkbox"/> チラシ、プログラム等の印刷物はエコインクを使用する。 【結果・成果】 【反省点】 その他 () 【結果・成果】 【反省点】
	広報・ 先導者	<input type="checkbox"/> 低公害車を使用する。 【結果・成果】 【反省点】 その他 () 【結果・成果】 【反省点】
(4) 環境 啓発	共通	<input type="checkbox"/> ポスター、チラシ等に環境配慮への取組みを明記する。 【結果・成果】 【反省点】 その他 () 【結果・成果】 【反省点】
		<input type="checkbox"/> 会場内で実施している環境配慮活動を来場者に説明する。 【結果・成果】 【反省点】 <input type="checkbox"/> 委託業務の仕様書に環境配慮項目を明記するとともに、委託業者や出展業者へ環境配慮の趣旨や内容を十分に説明して協力を依頼する。 【結果・成果】 【反省点】 <input type="checkbox"/> 実施計画、運営マニュアル等において、環境配慮項目を明記する。 【結果・成果】 【反省点】 その他 () 【結果・成果】 【反省点】
実施主体 担当者		



エコイベントとっとり

エコイベントマニュアル

鳥取県生活環境部環境立県推進課

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220番地

電話 0857-26-7875

FAX 0857-26-8194

Eメール kankyurikken@pref.tottori.jp